

真剣な表情で「心肺蘇生」

名古屋高の生徒530人

マッサージや
AED操作
救命措置学ば

東区砂田橋の名古屋高
校の生徒たちが十九、二
十の両日、心臓マッサ
ージによる心肺蘇生（そせ
い）法やAED（自動体
外式除細動器）の扱い方
を学んだ。

循環器系医療機関の豊

橋ハートセンター（豊橋
市大山町）の協力で、約
五十体のタミー人形とA
EDトレーナーを体育館
に用意。保健体育の授業
で心肺蘇生法を習う二
年生全員の約五百二十人
が二日間にわたり、セ

ンター職員の前浦武治さ
ん（右）からクラス別に
実技の手ほどきを受け
た。

「心臓マッサージが救
命の鍵。迷わず、すぐに
始め、手を離さず」など
とのアドバイスに従い、
生徒たちは二人一組で人
形を使った救命措置に挑
戦。心臓マッサージの間
にAEDの操作も取り入
れ、真剣な表情で息を含
わせて取り組んだ。

井深悠人さん（右）は
「マッサージを続けるこ
とは予想以上に疲れて難
しかった。実技で学んだ

ので、今ならいさという
ときにも役に立てそうぞう
す」と話していた。

（岩崎健太郎）



タミー人形を使って心肺蘇生法を学ぶ生徒たち＝東区の名古屋高校で